

クラシック・ギター界のスーパースター、メン・スー。彼女を知らなかったという方も、その録音を聴けば、忘れられない名前になるだろう。

そのバッハは“クリーンな演奏”なんていうものではない。非の打ちどころがなく、なんとも軽々と弾きこなす真の名人の印だ。その繊細さとニュアンス。スーは決してひけらかしたり、荒々しい弾き方をしない。ただ静かに美しく、深い。

名ギタリスト、マヌエル・バルエコに師事したスーの演奏からはバルエコ譲りの確実さ、力強さ、細部への集中力が如実に感じられる。その音色はまるでやかでいて強く、強健。

細部に注意を払い辛い程の急速なテンポに於いてもスーは一つ一つの音への集中力を存分に発揮。速いアルペジオのキレの良さは特筆すべきだ。

余裕すら感じられる姿で、完璧なコントロール力を魅せつけてくれた。

(Cleveland Classical.com / 米)

瞑想的、即興的な解釈に絶妙なルバートと色彩豊かなエフェクト。きらきらと輝く和音の美しさに私は思わず息をするのも忘れた…

(Classical Voice / 米)



Meng Su

メン・スー(ギター)

現代ギター界の重鎮 M.バルエコの愛弟子 中国・青島出身の新星ギタリスト

2015年パークニング国際ギターコンクールで優勝したメン・スーは、当コンクールのユース部門と本選部門の両方を制覇した初のギタリストとなった。そして彼女は、パークニング国際でファイナリストとなり優勝した初めての女性ギタリストでもある。彼女の演奏は「彼女の年齢からは信じがたいほどの高度な芸術性と創造性を兼ね備えている」と評されている。

中国の青島出身、5歳からギターを始めた。早くから才能を開花させ、第5回ウィーン・ユースギターコンクール、パークニング国際ギターコンクール・ユース部門、第48回東京国際ギターコンクールで優勝、イザロン国際ギターコンクールで第2位を獲得した。2006年より米国ピーボディ音楽院へ留学しマヌエル・バルエコに師事。優秀な成績で演奏家ディプロマを取得する。現在は、米国メリーランド州セント・メリー大学で教鞭も執る。

これまでに、ボルチモア交響楽団、ミッド・アトランティック交響楽団、ナイト室内管弦楽団と共演。2009年にヤンメイ・ワンと共に北京ギター

デュオを結成し、翌年カーネギー・ウィル・ホールでデビュー。

世界各国でコンサートツアーを行ない、スペイン、ポルトガル、イタリア、スイス、デンマーク、ポーランド、セルビア、中国と米国で、ソロ、北京ギターデュオ、恩師マヌエル・バルエコを交えたトリオによるリサイタルを開催した。

北京ギターデュオのデビュー CD『マラカイベ』はラテン・グラミー賞にノミネートされた。タイトル曲はセルジオ・アサドが彼女たちに献呈したものである。セカンド・アルバム『バッハから譚盾へ』には、中国人の著名な作曲家である譚盾(Tan Dun)による〈8つの水彩画の想い出〉の世界初録音が収録されている。バルエコと北京ギターデュオのトリオによって録音された『チャイナ・ウェスト』は2014年5月にリリースされ、批評家から高評をもって迎えられた。

2016年には初のソロ・アルバム『Meng〜蘇萌』を発表した。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)